



平成 30 年 2 月 7 日

各 位

上場会社名 東洋エンジニアリング株式会社
代表者 取締役社長 中尾 清
(コード番号 6330 東証第一部)
問合せ先責任者 経理部長 三代川 康雄
(TEL 047-454-1521)

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正ならびに 配当予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 29 年 5 月 19 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の通期連結業績予想の修正について決議いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成29年5月19日発表)	百万円 370,000	百万円 6,500	百万円 5,000	百万円 2,000	円 銭 52.17
今回修正予想(B)	350,000	△ 18,000	△ 16,000	△ 18,000	△ 469.54
増減額(B - A)	△ 20,000	△ 24,500	△ 21,000	△ 20,000	
増減率(%)	△5.4%	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	431,917	△ 2,009	1,603	1,472	38.42

(2) 修正の理由

米国向けエチレン製造設備プロジェクトにおける工事コストの大幅増加と工事進捗率の低下により、売上高は前回公表値から 200 億円減収の 3,500 億円、営業利益は前回公表値から 245 億円減益の△180 億円となる見込みです。

一部持分法適用関連会社の収支改善等により営業外損益で 35 億円の増益を見込み、経常利益は 210 億円減益の△160 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は 200 億円減益の△180 億円となる見込みです。

米国向けエチレン製造設備プロジェクトは工事初期の地盤・杭問題に起因する土工工事の遅延回復のため、昨年春以降、増員・夜間作業等の工事促進策を実施しましたが、例年になく長雨やハリケーン等の影響も加わり効率的に作業が捗らない状況下、当第3四半期連結会計期間において、当該工事促進策を見直し、2018年度上期から同下期への納期延長につきお客様と合意に至りました。同時に、今後のコストへの影響を現時点までの間接費・工事体制及び工事要員の生産性等を踏まえて見直した結果、大幅な工事コストの増加を見込むこととしたものです。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想修正の理由

前述の通期連結業績予想の修正を踏まえ、当期の期末配当につきましては、厳しい業績状況を鑑みて、収益改善及び財務体質の強化を最優先課題と判断し、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、事情ご賢察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(2) 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	年 間
前 回 予 想 (平成29年5月19日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00
今 回 修 正 予 想			—	0.00	0.00
当 期 実 績	—	0.00			
ご 参 考 : 前 期 実 績 (平成29年3月期)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の前回予想の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の前回予想の1株当たり期末配当金は3円00銭となります。

(注) 上記の業績予想および配当予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合がございます。

以 上